

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(阿蘇郡)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	阿蘇郡	南小国町満願寺吉原	吉原岩戸神楽	よしわらいわとかぐら	熊本県重要無形民俗文化財 昭和35年4月22日	9月20日 10月18日	吉原大神宮 小国両神社	秋の例大祭での奉納は、114回目。同神楽は、豊後神楽の流れをくむ古典芸能で、江戸時代後期に伝わったとされる。一時途絶えたが、1894(明治27)年復活。1976年に国の無形民俗文化財に指定された。神楽殿では、地元小学生が舞う「五方礼始」で始まり、同保存会が全三十三座のうち「平国」「五穀舞」「柴曳」「天皇遣」「綱の母」「八雲弘」の六座を奉納した。【2008.9.22熊日】 吉原岩戸神楽は、文化(1804～)～弘化(1844～)頃に、豊後国より伝承されたらしいが、はっきりした時期は不明である。凶作や飢饉に苦しみ、村人達が自暴自棄に陥り、賭博の類がはびこり、民心不穩の頃吉原へ伝えられたという。その頃、どの程度神楽が行われていたか不明であるが、明治25年頃に神楽の師匠や彫面師の指導を受け再発足した。9月20日吉原神社例祭にて、社殿で、たき火に照らされて舞う。五方礼始より大神にいたる三十三番の舞がある。【熊本県ありのままHP2005】 吉原神社例祭にて、神殿でたき火に照らされて舞う。【2001】	【伝統芸能】 神楽			五穀豊穣
2	阿蘇郡	南小国町赤馬場市原	市原祇園社獅子舞	いちばらぎおんしゃししまい	南小国町無形民俗文化財 昭和58年3月10日	7月22日 7月23日	市原祇園社	南小国町赤馬場の市原祇園社の大祭が22、23日の両日あった。伝統芸能の獅子舞が奉納され、獅子舞と山鉦が町内を巡回した。梅雨明けの無病息災と悪魔祓いを祈願する祭りで、22日夜の「夜渡(よわたし)」で開幕。笛や鐘、太鼓の音が流れる中、境内で市原獅子舞保存会が雌雄一対の獅子を荒々しく舞った。23日は早朝から、2頭の獅子が町内の各家庭を回る「在まり」で家内安全を祈願。獅子舞の後を、氏子に引かれた山鉦が続いた。獅子舞は、約250年前から伝わる町無形民俗文化財。17年前、小中学生の男女で「こども獅子」を組織し活動してきたが、今年から大人獅子と一緒に行動することにした。【2009.7.24熊日】 市原祇園社の例祭で、前夜祭と当日に獅子舞が奉納される。【2001】		小国町教育委員会 0967-42-0647		
3	阿蘇郡	南小国町中原瓜上	中原楽	なかばるがく	南小国町無形民俗文化財 昭和58年3月10日	9月18日	中原熊野座神社	秋の例大祭があり、中原楽を奉納し、五穀豊穣を祈願した。中原楽は、地元の瓜上、上中原の両地区住民が伝承しており、奉納は1年交代で行う。今年には瓜上地区の出番で、2歳～83歳の33人が参加した。踊り手たちは紺のじゅばんに鉢巻、鮮やかな赤のたすきなどで正装し、神社の神殿を3周した後、境内で輪になり、楽長の口上で踊りを開始。太鼓や笛、鐘の音に合わせて伝統の舞を披露し、見物人から盛んな拍手が送られた。【2008.9.19熊日】 熊野座神社の祭礼時と小国両神社の秋季大祭で奉納される。【2001】		南小国町教育委員会 0967-42-0647		
4	阿蘇郡	小国町宮原宮下	宮原祇園社獅子舞		小国町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	7月23日～ 7月25日	宮原祇園社	小国町の宮原祇園社で23日から3日間、夏祭りがあり、呼び物の獅子舞が今年も演じられる。親子4代で競演する一家の練習にmぼ熱がこもっている。獅子舞は二人一組で舞い、獅子頭を大人が、しっぽは子どもが操る。獅子舞は、町指定無形文化財。300年の伝統があり、悪病退治の願いが込められているという。【2009.7.20熊日】 小国町宮原両神社内にある祇園社の獅子舞【2001】				
5	阿蘇郡	小国町下城坂下本村	下城楽	しもじょうがく	小国町無形民俗文化財 昭和55年10月22日	10月16～ 10月18日 11月21日	小国両神社 下城若宮神社	秋の例大祭で住民約40人が400年の伝統を誇る下城楽を奉納した。下城楽は、本村と坂下地区で伝承。てんぐの面を付けた猿田彦大明神を先頭に坂下公民館を出発し、楽人たちは、約1キロ離れた同神社まで道楽を披露しながら練り歩いた。神社に着いた一行は、神殿を一周した後、境内で紺の袴にたすきがけ姿の大人が、長さ約1.5mの棒を打ち付けて踊る勇壮な「庭楽」。白い鉢巻にたきつばかまの子どもたちは、オイの掛け声でカネをたたく「オイチンチン」踊りなどを奉納した。同神社は九州探題として南小国町満願寺に滞在した北条定宗を祭ったお宮。1980年、町の無形文化財に指定されている。【2008.11.21熊日】 下城若宮神社の神事として奉納しているもの【2001】		小国町教育委員会 0967-46-3317		

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
6	阿蘇郡	産山村産山	産山の獅子舞	うぶやまのしまい	産山村無形民俗文化財 昭和54年9月1日	9月9日		嵯峨宮神社の秋の大祭に氏子中の青年たちによって奉納されている。【2001】		保存会	産山村役場 0967-25-2211	
7	阿蘇郡	産山村片俣	片俣の盆踊り			8月14日		新精霊供養のため初盆の家で踊られている。【2001】				
8	阿蘇郡	高森町尾下	尾下菅原神社獅子舞	おくだりすがわらじん じゃしまい	熊本県無形民俗文化財 昭和56年3月26日	10月3日	尾下菅原神社	尾下は、阿蘇外輪山東部外側斜面の大分県境付近に位置する高原農村で、この獅子舞は宝徳2年(1450)に現・大分県清川村の御嶽社に奉納された獅子舞を起源とし、その後漸次芸態に手が増えられ、朝地町、竹田市の神社を経由して明治11年に尾下に伝承されたという。尾下菅原神社祭礼に奉納され、3人立の雌雄2頭の獅子が団扇を持った子供達と対面し、一進一退を繰返しながら舞う。太鼓の「打込み」の後、「宮お立ちの舞」「六調子」を舞って神社から御飯屋へ道行きをする。鳥居にさしかかると「鳥居越し」という4つの舞をし、さらに「六調子」「きざみ」と舞い、神輿が安座すると「納め」を舞って獅子を納める。御飯屋から神社の帰還には、「打込み」をし、「浜お立ち」を舞い、「六調子」「鳥居越し」で道行きし、神社で「六調子」「きざみ」を交互に舞い「正面舞」「きざみ」「舞納め」で終える。【熊本県ありのままHP2005】 例年、菅原神社の大祭に奉納される。【2001】				
9	阿蘇郡	高森町峯の宿	峯の宿のばんば踊り	みねのしゆくの ばんばおどり	熊本県無形民俗文化財 昭和56年3月26日	不定期	峯の宿の初盆の家、 墓地	峯の宿は、十数戸の小部落だが、8月の盆の夜、部落総出で、初盆の家の前で、初盆の家がないときは広場で、バンパ踊りと称す盆踊りが行われる。この踊りは、寛政(1789～1801)時代に日向高千穂方面から伝えられたといい、文政2年(1819)に氏神に奉納した記録が残されている。踊り手は、浴衣に、男は鉢巻、女は姉さんかぶりの仕度で、輪になって、笛、大太鼓、小太鼓に、太夫口説(くどき)という歌い手の歌にあわせて踊る。踊りは、扇子踊り、太刀切り、綾筒、左衛門、二つ拍子、八百屋、弓引き、三勝踊り、団七踊りなどで、二本扇、綾棒、綾棒と扇、長刀、刀を持ったり、手踊りで踊る。【熊本県ありのままHP2005】 寛政年間に日向高千穂、椎葉方面から伝えられたものである。【2001】 演目⇒二ツ拍子、ばんば踊りその一、サンカチ踊り、ばんば踊りその二、やをや踊り、団七踊り、あやづつ踊り、立ちきりばんば。 特色⇒寛政年間(1789-1801)に椎葉方面から伝えられたという。【1991】			高森町役場 0967-62-1111	
10	阿蘇郡	高森町高森	高森阿蘇神社高千穂神楽	たかもりあそじんじゃ たからほかぐら	高森町無形民俗文化財 昭和51年9月14日	7月30日		神前以外で舞うことはできないという決まりがある。【2001】	【伝統芸能】 神楽			
11	阿蘇郡	高森町草部	吉見神社高千穂神楽	よしみじんじゃ たからほかぐら	高森町無形民俗文化財 昭和51年9月14日	1月1日 7月31日		昔から宮に伝えられている高千穂系統の神楽である。【2001】	【伝統芸能】 神楽	楽長		
12	阿蘇郡	高森町色見	色見熊野座神社神楽	しきみくまのざじんじゃ かぐら	昭和60年	不定期		高千穂神楽の系統の舞楽である。【2001】	【伝統芸能】 神楽			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
13	阿蘇郡	(旧長陽村)南阿蘇村長野	長陽村長野の岩戸神楽	ながののいわとかぐら	熊本県無形民俗文化財 昭和36年11月21日 国選択無形民俗文化財 昭和49年12月4日指定	5月20日 10月27日	長野阿蘇神社神楽殿 (長野神楽の里公園)	300年以上の歴史があるとされ、全33座の演目があり、変化が激しいリズムが特徴。地元住民約30人で行う保存会が継承。神楽殿では「神下(かみおろし)」、天の岩戸に神々が集まる「尾敷(おしき)」などの10座が次々と披露され、天孫降臨の場面を表現した「天皇注連(てんのうしめ)」で最高潮に達した。【2012.10.29熊日】 長野岩戸神楽は第1座「神下しの舞」から第33座「壺戸開の舞」で33座から組立てられ、全座舞うのに以前は3日3晩かかったと云われているが、毎年5月20日、10月27日の年2回、長野阿蘇神社の祭典時奉納され、10月27日大祭には、屋外神楽「天王七五三」通称竹登りの舞は10数米の竹竿に登る曲芸風の神楽が地方的特色に富んで見どころとされている。【熊本県ありのままHP2005】 春、秋の2回、地元長野阿蘇神社に奉納されている。【2001】	【伝統芸能】 神楽		長陽村役場教育委員会 商工観光課 09676-7-1111 内線59-45 JR豊肥本線立野駅下車、南阿蘇鉄道乗り換え阿蘇下田駅下車地獄垂玉行産交長野中央停留所下車1分	
14	阿蘇郡	西湯浦	西湯浦八幡宮の七夕	にしゆのうらはちまんぐうのたなばた		8月7日	西湯浦八幡宮	朝、お宮からお仮屋まで御神幸、屋からお宮に戻る。神幸行列は、先ばらい-猿田彦-幣(金・神)-櫛-五色の旗-槍-矛-弓-鉄砲-長刀-獅子頭(雄・雌)-おおと団扇-と団扇-花笠-御輿-田植歌の順で、お仮屋を出発するときから田植歌が歌われる。田植え歌の練習は7月28日からで、阿蘇神社の御田祭が終わってからと決められていた。【1991】				
15	阿蘇郡	高森町中野	高森阿蘇神社神楽	たかもりあそじんじやかぐら		4月10日 7月30日 8月17日	高森阿蘇神社	《演目》四方拝、神興し他【1991】	【伝統芸能】 神楽	高森町役場 0967-62-1111		
16	阿蘇郡	高森町尾下大字牧戸	牧戸盆踊り			8月14日 8月15日	牧戸の宿の初盆の家、墓地	演目⇒ニツ拍子、祭文、やをや、カマスカ踊り、くち、杵筑踊り、猿丸大夫、弓引き踊り。特色⇒大分県の萩町、柏原方面から伝わったという。【1991】		高森町役場 0967-62-1111		
17	阿蘇郡	高森町	高森阿蘇神社風鎮祭・風鎮太鼓	たかもりあそじんじやふうちんさいふうちんたいこ	高森町無形民俗文化財 昭和57年3月24日	8月17日 8月18日	高森阿蘇神社	高森阿蘇神社の風祭り等の神事に行われている。【2001】 17日は午前0時から「目撃し」といって鉦、太鼓、三味線で町内を囃子でまわる。これを合同に各町内で日常品を使った作り物の製作が始まる。午前中は、町内ごとに作り物の展示、風鎮太鼓が町内を回る。2日目は樽御輿、仮装行列、作り物を三味線、太鼓の囃子で引き回す「山引き」が行われる。【1991】		高森町役場 0967-62-1111	五穀豊穡	
18	阿蘇郡	南小国町満願寺黒川	元寇防衛太鼓			1月1日 10月第1日 曜	黒川温泉	《構成》《特色》【1991】				
19	阿蘇郡	南小国町田の原	田の原の盆踊り・段七踊り			8月13日 8月15日		竹の棒打ち「段七」踊り。田の原地区伝統の初盆供養。2ねんぶり軽妙な口説き合わせ。田の原盆踊り保存会によると、盆踊りは初盆を迎えた家の庭で踊っていたが、最近は大庭が少なくなったため集会所の広場など使っている。昨年はなく、2年ぶりとなった。今年は4軒で13日は各地区で実施。15日は合同供養として田の原温泉街にある明達寺前広場で開き、約100人が参加した。踊りは、歌い手の口説きで開始。歌は出だしの「坪かり」から「豆まき」、そして竹の棒を持って踊る「段七」など8種類からなる。「坪かり」では「さらば東西ご免なされ 私しや豊後の茶売りでござる 聞けばこなたは初盆そうな 盆の供養には踊りがよからう …」。【2008.8.17熊日】				
20	阿蘇郡		扇の盆踊り					《構成》《特色》【1991】				
21	阿蘇郡	南小国町居原	小国万歳			不定		《構成》《特色》【1991】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
22	阿蘇郡		にわか神楽	にわかぐら				《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】神楽			
23	阿蘇郡	小国町上田字絵江古尾	江古尾のお座敷田植え	えこおのおさきたうえ		6月中旬 (田植え、サナボリの日)	江古尾公民館	《構成》口上役1人、田主役1人、田主の妻役1人、牛役2人、加勢人多数、唄手多数。《特色》荒起こしから田植えまでの様子を演じるもので、サナボリで演じられる。【1991】		小国町役場 0967-46-2111		
24	阿蘇郡		岳湯盆踊り					《構成》《特色》【1991】				
25	阿蘇郡		弓田の盆踊り					《構成》《特色》【1991】				
26	阿蘇郡		遊雀の盆踊り					《構成》《特色》【1991】				
27	阿蘇郡		仁田水の盆踊り					《構成》《特色》【1991】				
28	阿蘇郡	南阿蘇村一関 (旧白水村)	高千穂神楽	たかちほかくら		7月15日 10月14日	八坂神社	《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】神楽			
29	阿蘇郡	南阿蘇村 (旧久木野村)	久木野太鼓	くぎのたいこ		不定		《構成》《特色》【1991】				
30	阿蘇郡	西原村河原	阿蘇四宮神社神楽			11月23日	阿蘇四宮神社	《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】神楽			
31	阿蘇郡	西原村河原	白山姫神社の神楽			11月15日	白山姫神社	《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】神楽			
32	阿蘇郡	高森町野尻尾下	尾下りの神楽				菅原神社	【1976】				
33	阿蘇郡	南小国町満願寺黒川	黒川楽	くろかわかく		10月16日 10月17日 10月18日	小国両神社	【1976】				
34	阿蘇郡	南小国町満願寺堂ノ本	満願寺投扇興			1月2日 ～ 1月15日		【1976】				
35	阿蘇郡	小国町	杖立温泉どんとや火祭り	つえたておんせんどんとやひまつり			杖立温泉街多目的広場	神職が禰を温泉の湯に浸し、参加者に振り掛ける「湯かけ神事」の後、杖立川中洲など3カ所に立てた高さ2-5メートルほどの櫓に門松やしめ縄などを積み、神事で火打石で採火した火を点火する。【2007.1.18.熊日】		杖立温泉旅館組合		健康 商売繁盛
36	阿蘇郡	西原村	お法使まつり	おほしまつり		10月30日		700年以上続くとされる。担ぎ手が豪快にみこしを放り投げるのが見どころ。祭神は益城町と西原村、菊陽町の12地区の「御仮屋」を1年ごとに遷座。次の地区に引き渡す際、みこしを手荒く扱うのが習わし。【2012.10.31熊日】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
37	阿蘇郡	小国町杖立温泉	杖立伝承芝居	つえたてでんしょうしばい		5月27日 5月28日	杖立温泉	杖立温泉祭りがあり、呼び物の「杖立伝承芝居」では地元住民が熱演。延べ800人が、涙と笑いの演技に声援と拍手を送った。杖立伝承芝居友芸会主催で41回目。役者は地元の旅館、商店主、役場職員のほか、教師、警察官らも特別出演し、けいこの成果を披露した。【2008.5.30熊日】				
38	阿蘇郡	南阿蘇村一関	祇園岩戸神楽	ぎおんいわとかぐら		9月19日夜	若宮神社	若宮神社の秋季大祭が行われ、祇園岩戸神楽が奉納された。五穀豊穡を祈願して、毎年開いている。地元の神楽保存会のメンバーが、厳かな舞を披露。中秋の名月が照らす中、太鼓や笛の音が響き、氏子たちが見守った。祇園岩戸神楽は、450年以上の歴史を持ち、昨年は台湾公演も実施した。【2013.9.25熊日】				五穀豊穡
39	阿蘇郡	南阿蘇村	白水村祇園の岩戸神楽			7月	八坂神社	1999年以来13年ぶりとなる若手新会員が入会。夏祭りデビューを目指して練習に励んでいる。同神楽は450年の伝統を持つ高千穂系の神楽で全13座。以前は全員30代以下で舞っていたが、徐々に高齢化。若手の育成が課題だった。【2012.2.18熊日】				